

琉球大学教育学部附属小学校

令和5年度第69回全九州学校図書館コンクール 優秀賞受賞報告

(主催：九州地区学校図書館協議会・西日本新聞社)

令和6年3月27日(水)

琉球大学教育学部附属小学校

校長 與那嶺 美奈子

1 受賞に至った本校図書館教育の内容について

- (1) 「子供の学びの日常化」と「教師の学びの日常化」を意識し、「学習情報センター」「教員サポート」機能としての学校図書館の充実、「読書環境」の整備、「子供の居場所づくり」を学校経営重点の取り組みとして学校図書館整備。

【子供目線に立ち図書館リニューアル】

- ・入り口から、利用する子供が館内を見通せるように配架や表示の高さを工夫
- ・学習成果物を子供の目線を考慮し展示することにより、他学年の読書推進を図っている。
- ・「絵本コーナー」を児童同士の安心感を考え、サイズダウンした広さにし、畳、座卓を設置。
- ・教科書に出てくる図書や教科書関連図書スペースコーナーを子供の目線にあわせた場所へ設置。
- ・廃棄本を児童へ提供
- ・貸し出しや閲覧が少ない図書の配架場所や館内・館外利用を工夫

(2) 【ブック委員会(児童)の取り組み】

- ・司書、教員、ブック委員会(児童)主体による読書活動推進取り組み
春の読書・平和月間：本の表紙カバーを再利用した絵本バック、しおりやブックカバー、図書室利用バーコード体験チケット、おまけブック券などなど
平和の心の木の作成
- 秋の読書月間：辞書引き大会、読書朝会による読み聞かせ、ビブリオバトル、くじ引き大会、読書クイズ、読書郵便などなど

(3) 【栄養教諭と図書館コラボの取り組み】

- ・栄養教諭と連携し、図書・給食コラボメニューを開発し読書月間期間の給食提供により読書推進している。